

令和五年度学校文集【令和六年一月その二】

【三学期始業式 児童代表の発表 令和六年一月九日】

ひらやま 十三号



ちがさも ういしななスたボし人 かうい
ていいボ地とうたどタめイギがそつのにわ
いた。イ球考よらで1にすにいしたゴいし
たらそすのえびだや、て思るので、す。
らちしてたてかめボほ学をいのかなぜゴミを
ひゆてはめいけだイう校しまかをふいた。
ろう、ぜにまをよすそでなしきをふ。
ついボつもすしーてうボいた。よとは
てをいた
くしすいみ
だてしん
ださい、しな
いごいでくめ
がおる人だ

ポイすてしない
四年三組 奈須 よつ葉

【宮崎日日新聞『若い田』
令和五年十二月二十三日】

日新聞『若い目』
令和五年十二月一
三日



☆入賞おめでとう!☆

【第20回県少年柔道形競技会 小学生の部】
準優勝 黒田 雄心 [5年2組]

【第50回動物の作文コンクール】 銅賞 佐藤 真彩 [6年1組]

【第12回日向市景観賞「作品部門」景観絵画コンクール】

金賞 本薦 恒弥 [1年2組]
銀賞 田村 寧々 [4年1組]
銅賞 緒方 キラ [6年2組]

【第11回高森文夫を偲ぶ詩大会】
二席 布井 沙和〔6年1組〕
佳作 永溝 奉〔6年1組〕

さづかうやはきこ何思強どうくをにはだれ私人てにかと時たつ一ま合 きづか
う、大、らの度いいはにり努思でいたはよはみ勝けいに。た点うで私ん口に私
う会こめ時も、チ大な返力つきじ。こり、るるにう、家後差か負がの野勝が
きでれて、優練！事つししてなよ今の秀生と天な言母に、でらけこ人球る座
う負かいな勝習ムだた努ていいうま言でま、才つ葉が帰私負だたとが選天右
けられたらたぜすしにと。力、たとびで葉てれ「なたを「つはけ」との口手才の
すてもん今るたも思私し練な、だは、をいつ目し。言努てなて十き言にのな銘
練だまこ。勝つはて習と努ろ、聞るき標」そつ力試みし月に葉し野しに
し習ろでとすてた何いの思力う少い」と優のとのてに合だまのすをて村し
ままでう努がるる。度たなうを、して、言ためう、れる話止、合落んる也。い
つでと力でとよ努もらい。し私の、つに意母た天をま試でちだ言さ
したき思もき、う力努、日でてに練背て能努味にの才しら合私この葉んれは、
チなつせたチにす力でなきいは習中くを力を「がなてながたんはだ。た
いたず私ムこ。には、るばる、こよ、技の技でき。つるい力つ」たつわはし試
く元努

六年二組 栗山 りみ

【宮崎日日新聞『若い日』
令和五年十二月二十一日】